

「暖冬に負けないスキー場」へ

2019年10月

軽井沢プリンスホテルスキー場

長野県内トップを切る11月2日(土)オープンに向け

10月9日(水)、造雪開始

【造雪期間】2019年10月9日(水)より

軽井沢プリンスホテルスキー場(所在地:長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 総支配人:中野忠昭)では、長野県内で最も早い2019年11月2日(土)オープンに向け、2019年10月9日(水)より造雪を開始いたします。

昨シーズンの長野県内スキー場では、暖冬による雪不足の影響もあり利用者数が前年比1.8%減という結果になりました(長野県観光部山岳高原観光課)。また、気象庁寒候期予報(2019年9月25日発表)によると、今冬も暖冬傾向の見通しです。

軽井沢プリンスホテルスキー場では昨シーズン、人工造雪機の早期活用により、来場人員は前年比3.1%の増加となりました。今シーズンは人工造雪機・人工降雪機の更新による雪質・降雪量の更なる向上を行い、前年以上に造雪量の増加を見込みます。気象条件に左右されないスキー場として、引き続き県内スキー産業の活性化を牽引するよう取り組んでまいります。

■軽井沢プリンスホテルスキー場 造雪概要

本年は10月9日(水)より人工造雪機(8基)をフル稼働し、1日約450t、オープンまでの24日間で約6,000 m³の雪を造ります。予定通り作業が進むと全長約400m、コース幅約15m、積雪約50cmの2コースがオープンいたします。

本年より、より細かく良質の雪を効率よく造れるよう造雪機1台・降雪機10台を更新いたしました。

造雪機・降雪機の更新により、前年度と比較し造雪量が増え、コース幅の早期拡大・積雪量の増加が可能となります。

【期間】2019年10月9日(水)より

【時間】10:00A.M.より ※造雪機は24時間稼働

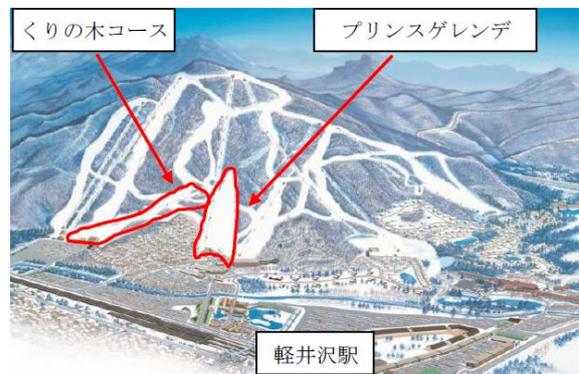
【場所】軽井沢プリンスホテルスキー場 くりの木コース、プリンスゲレンデ

※造雪機とは、-25℃で冷却した結氷板へ水を流し結氷させ、細かい粒子にして造雪する機械です。

軽井沢プリンスホテルスキー場はフレックタイプ8基(ユニット式100t/日×1基、50t/日×7基)で450t/日を造雪します。



造雪作業の様子



11月2日(土)にオープンする「くりの木コース」と「プリンスゲレンデ」

◎お客さまからのお問合せ 軽井沢プリンスホテルスキー場 TEL: 0267-42-5588

◎本件に関する報道各位からのお問合せ先
 軽井沢プリンスホテルスキー場 担当
 TEL: 0267-42-5588 FAX: 0267-42-8771
 軽井沢プリンスホテル マーケティング戦略
 TEL: 0267-42-8115 FAX: 0267-42-8118
<https://www.princehotels.co.jp/ski/karuzawa/>